

M3T-PD308F V.2.00 Release 1 M3T-PD308 V.4.00 Release 1 ご使用上のお願い

M32C/80, M16C/70シリーズ用エミュレータデバッガM3T-PD308FおよびM32C/80, M16C/80シリーズ用エミュレータデバッガM3T-PD308の使用上の注意事項を連絡します。

- IARシステムズ製C/C++コンパイラEWM32Cが生成するELF/DWARF2.0形式オブジェクトファイルのダウンロードについての注意事項

1. 該当製品

M3T-PD308F V.2.00 Release 1
M3T-PD308 V.4.00 Release 1

2. 内容

IARシステムズ製C/C++コンパイラEWM32Cが生成するELF/DWARF2.0形式オブジェクトファイルのシンボル情報をダウンロードすると、ダウンロード中に異常終了する場合があります。

2.1 発生条件

ソースファイルが以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) 1つのソースファイルに64以上のファイルをインクルードしている。

※ ただし、インクルードファイルが別のファイルをインクルードしている場合は、すべてのインクルードファイルのうち、ファイルをインクルードしていないファイルのみが上記のファイル数に含まれます。

- (2) (1)のインクルードファイルの中に、実行コードを記述したファイルが1つ以上ある。

3. 回避策

本問題を改修したDLLファイルをダウンロードして使用してください。

以下の手順で、改修済みDLLファイルに置き換えてください。

(1) 以下の改修済みDLLファイルをダウンロードする。

M3T-PD308F用： p308fedll.exe (569KB)

M3T-PD308用： p308edll.exe (563KB)

(2) ダウンロードしたファイルを解凍する。

(3) 以下の解凍後ファイルを、M3T-PD308FまたはM3T-PD308をインストールしたフォルダにある同名のファイルに上書きコピーする。

M3T-PD308F用： p308fedll.dll V.1.20.01

M3T-PD308用： p308edll.dll V.1.20.01

(4) DLLファイルのバージョンを確認する。

(i) M3T-PD308FまたはM3T-PD308を起動する。

(ii) [Help] -> [About...]メニューを選択すると、Versionダイアログがオープンする。

表示されたバージョンが、改修済みDLLファイルのバージョン「V.1.20.01」であることを確認する。

4. 恒久対策

本内容は、次期バージョンアップ時に改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。